



河越 安実治 議員

買い物弱者支援対策 について

問 買い物弱者への支援は。

答 地域の実情に応じてコミュニティバスや乗り合いタクシーなどによって移動手段の確保に取り組んでいます。今後も関係部局が連携して現状把握に努め、行政ができること、民間やNPOなどをお願いすること、地域内の住民で取り組めることなど、様々な観点から検討を深めていきます。

問 少子高齢化が進み、高齢者の方々の移動手段が限られてきているのが現状である中、小売店の閉鎖などで日常の買い物機会が十分に提供されない方が多く存在し、今後増えていくことが予想される。市内の買い物弱者数および地域の現状について伺います。

答 市民生活部長

本市において、運転免許を保有されない高齢者等が一般的には買い物弱者になるものと考えますが、店舗に向く以外にも移動販売や宅配サービスを利用されるケースも多くあることから、実質的な買

い弱者の数は把握できていない状況です。また、地域の現状としては、かつてはコミュニティの場としての機能を果たしてきた小売店舗が地域から姿を消してきていることは認識しています。

問 買い物弱者への支援と関係部局連携は。

答 市民生活部長

買い物弱者への支援として、商品を届ける方法と店舗への移動手段を確保する方法が考えられます。商品を届けることについては、民間のサービスをうまく利用されることで

負担の軽減につながるものと考えています。店舗への移動手段の確保については、市としては、地域の実情に応じてコミュニティバスや乗り合いタクシーなどによって移動手段の確保に取り組んでおります。また、最近の事例では、マキノ地域で社会福祉法人が移動支援サービスを検討されている動きもあります。

買い物弱者支援は、地域コミュニティ、福祉関連、公共交通、民間のサービス事業など、広範囲に及ぶことから、まずは関係部局が連携して現状把握に努めるとともに、行政や

民間事業者、住民それぞれの立場でできることなど様々な観点から検討を深めていきたいと考えています。



その他の質問
○新型コロナウイルス感染症
について